

武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No.

17

1997-12



横浜キャンパスに女神像！

去る12月6日、横浜キャンパス3号館1階吹抜けフロアーに設置された
モニュメント『風の薫りに魅せられて』（柳澤飛鳥作）が、環境情報学部
開学記念として、後援会より贈られ、大学側への贈呈式が行われました。
これは、学生たちが天に向けてはばたくことを願うモニュメントとして永く残るでしょう。

後世への最大遺物



武蔵工業大学後援会 副会長
五艘 章(41年土木卒)



1997年11月8日、中国近代史上最大のプロジェクト三峡ダム揚子江本流せき止・転流が行われ建設工事が本格化した。総貯水量は米国フーバーダムの400億 m^3 に次ぐ393億 m^3 、総工事費3兆7500億円、完成は2009年、中国経済の大きな飛躍が予想される。

一方、我が国の全国ダム総貯水量は(1996年—2576個所)206億 m^3 と少なく、毎年水不足と水害を繰り返しており、総合的な渇水対策・国土再構築が急務である。

1997年12月18日、「東京湾横断道路」が開通する。東京湾央部で川崎と木更津を結ぶ延長15.1Km、世界最大・最長の自動車専用海底トンネル(φ14.14m, L9.5Km)である。調査開始から31年、総工費1兆4800億円、延労働人員450万人を要した巨大事業には本学卒業生も活躍し、小生も主管土木部長として参画する幸運に恵まれた。超軟弱地盤、海面下60mの高水圧、巨大な浮力、複雑な海象等の苛酷な自然条件を克服した建設技術(耐震設計、GPS測量、地盤改良、鋼殻ケーソン、

鋼製護岸、シールド地中接合、凍結工法、大深度地中連続壁、シールド掘進全自動システム等)は青函トンネル、本四架橋、関西空港等で蓄積した技術にコンピューターによる情報管理技術を駆使した世界最高のレベルにある。

ちなみに江戸時代、幕府の財政窮乏回復の為、田沼意次や水野忠邦らが幕府の威信をかけて印旛沼干拓に取り組むも、成田砂層の液化化に翻弄されて失敗。老中失脚の原因になった。干拓事業は過去200年間に数回の挑戦を経て昭和40年代にやっと完成している。

21世紀の日本は、先進諸国や中国、アジアの台頭に対抗する為、地球的環境に留意しながら第2国土軸やダム建設等のインフラ整備の遂行が不可欠である。今後の技術者には国際性、強靱な体力、人間性、組織の叡知を結集して事業を遂行する能力が要求される。

内村鑑三はその著書「後世への最大遺物」に人生を賭けるに価値あるものとして、「土木事業と教育事業」を挙げている。学生諸君にはクラブ活動を通じて、幅広い人間力を養い将来、「後生に遺る事業」に挑戦され、大成されることを心から願っている。

終わりに柔道の「力必達」(つとむれば必ず達する、と読む)の言葉を贈ります。

平成9年度
東京地区

「父母との連絡会」

密着取材レポート



▲300人教室で行われた全般説明(横浜キャンパス)

ご父母の皆さんからたいへんご好評をいただき、毎年恒例となっている「父母との連絡会」。今年も夏休みに入ってから全国27地区で開催され、9月27日に世田谷キャンパス(工学部)と横浜キャンパス(環境情報学部)で同時に開催された東京地区「父母との連絡会」で幕を閉じました。当日参加されたのは、東京、神奈川、千葉・埼玉のご父母を中心に、世田谷キャンパスは589名、横浜キャンパスには81名ほど。ここではその模様をレポートします。

■恒例の学内見学は今年もご父母に大好評！

東京地区「父母との連絡会」は、去年に引き続き気持ちのいい好天に恵まれました。今年は環境情報学部が新設されたことにより、会場を工学部のある世田谷キャンパスと環境情報学部のある横浜キャンパスとの二つに分け、ご父母の方々はそれぞれのお子さまたちが通うキャンパスに参加する形となりました。

開催時刻は両キャンパスとも10時30分。どちらの受付にも開催時刻の30分ほど前からご父母の皆さんが続々と集まってきました。今回は例年にも増して、ご夫婦揃っての参加など、ご家族連れが目立っていたようです。まずは世田谷キャンパスの模様からお伝えしていきましょう。

世田谷キャンパスのほうでは最初に学内見学が行われました。これは一組30人程度のグループに分かれ、職員の案内のもと「水素エネルギー研究センター」「情報処理センター」「音響研究室」「機器分析室」などを巡りながら、大学の主要施設を見学するプログラムです。お子さまたちが毎日を過ごしているキャンパスの雰囲気に触れるとあって、ご父母の皆さんは興味津々の面持ち。職員に対して積極的に質問を浴びせかける光景も随所で見られました。研究室によってはガイドを学生たちが担当する部署もあり、汗をかきかききれない大役に奮闘する彼らに、「がんばって！」

「どうした！」と励ましの声をかけるご父母の姿も……。各施設を一通り回ると時刻はちょうどお昼時です。そこで学内見学の最後は「学食」の試食で締め括る趣向となっています。味、そして何よりもボリュームに、大いに納得されたことでしょう。この昼食の時間を使って体育館では吹奏楽団によるコンサートも催され、食事を終えた方々の耳を楽しませていました。

午後1時からは全体説明会です。体育館で、学長と後援会長によるあいさつと、就職連絡協議会議長による就職状況に関する説明が行われました。武蔵工大の教育指導の方針や卒業生たちの就職状況など、ご父母にとっては関心の高いテーマが多かったせいか、どなたも真剣に耳を傾けていらっしゃいました。この説明会の後は各学科・学年別の懇談会の時間となり、希望者には個人面談も実施されました。



▲古浜学長



▲黒崎後援会長



▲曾根就職連絡協議会議長

■ 教育内容への理解を深めるクラス別の懇談会

横浜キャンパスのプログラムでは最初に学長、学部長、後援会長、教務委員長による全体説明会が行われました。柱となったのは、やはり環境情報学部そのもののガイダンス。学部を設立したことの意義、教育指導の内容、ここで学ぶ学生たちの可能



▲小沼環境情報学部長

性および将来の就職に対する展望などをテーマにした話が各講演者から語られました。とりわけ印象的だったのが、古浜学長の「文・理の枠組みを越えた選択科目の中から授業を自由に選択できる当学部



▲増井教務委員長

は、個性を育て、真の応用力を養成する」といった言葉。これには多くの参加者の方々がうなずかれていました。

説明会の後は自由見

「父母との連絡会」の1日



▲受付開始午前10時(横浜)



▲メディアホール横浜



▶機器分析室(世田谷)



▶掲示板(横浜)



▲学内見学出発(横浜)



▶無書室(世田谷)



ご父母の

世田谷キャンパス

機械工学科4年
初鹿野智弘さんのお母さんと妹



初めての参加です。娘に連れられてきた感じです。彼女は文系の大学に進学しましたので、理系の大学の雰囲気を知らなかったんでしょう。でも来てみて良かったわ。息子は自宅でほとんど大学のことを話さないものですから、学内の雰囲気がいまひとつわからなかったんですよ。学内見学も良かったですね。機器分析室にある電子顕微鏡などをはじめ、普段の生活では目にすることのできない貴重な機器に触れることができましたから。

土木工学科2年
斉藤匡也さんのご両親



大学関係の仕事をしているんですが、こうした行事をやっていると嬉しいのでは。非常にいい試みだと思います。学内を回ってみた感想は、規模がちょうどいいですね。その割には設備がとても近代的で、経営をどうなっているのか心配になるくらい(笑)。安心したのは、説明会での就職に関するお話。なんと100%なんですよ。

この恵まれた環境を大いに活用して、息子には自分の進むべき道を見つけてもらいたいですね。

機械工学科3年
石井宏幸さんのお父さん



キャンパスの雰囲気がいかにも大学らしくていいですね。緑が多く、閑静だし、こういうところなら息子の勉強もはかどることでしょう(笑)。先程、学食で昼食をとってきたんですが、いやー、びっくりしました。私たちが大学生の頃に食べていたものと比べたら、格段に違いますね。量も多いし、種類も豊富だし。食べ盛りの子供たちも、あの学食なら満足でしょう。一人暮らしをさせてる親御さんもきっと安心されたんじゃないですか。

学です。横浜キャンパスはいかに機能的に学べるか、いかに快適に学べるか、を最大限に配慮し、先進技術を駆使して建てられています。ご父母の皆さんは、まさに人と自然との共生を実現した21世紀型のエコキャンパスの空気を堪能することができたのではないのでしょうか。

世田谷キャンパスと同様、昼食を学生食堂でたった後はクラス別懇談会となりました。人数が少ないことが幸いし、各クラスとも和やかな雰囲気の中、教師とご父母との親睦を深めることができ

ました。もちろんお子さまたちがどのような環境の下で勉学に励んでいるのか、一層リアルに把握することができたことでしょう。

こうして、平成9年度の東京地区「父母との連絡会」は幕を閉じました。お子さまたちが日常を過ごすキャンパスの空気に触れつつ、武蔵工大の教育や就職指導についての理解を深めた一日……。参加されたご父母の皆さんは、とびきり有意義な秋の一日を過ごすことができたのではないのでしょうか。



コメント

環境情報学科1年 柴田佳将さんのご両親



全体説明会で環境情報学部が向かおうとしている方向がたいへんよくわかりました。学部長のお話にあった「個性を尊重する」という言葉は、いろいろなところで使われていますが、あれだけ具体的な内容を提示されると、説得力がありましたね。判を押したような教育を行う大学が多い中、この大学だけは違うな、という感じがしてきました。このまま理想をどこまでも追求し、本当の教育とは何かを世間に知らしめてほしいですね。

環境情報学科1年 清水恒実さんのお母さん



はるばる秋田からやってきました。入学式に出席できなかったので、この連絡会を楽しみにしていただんですよ。説明会で流された環境情報学部のPRビデオに、自分の息子が出ていたのにはびっくりしましたけど(笑)。大学ともなると、父母と大学側とのつながりは薄くなるものと思っていましたが、ここはそうではないんですね。この夏に息子が帰省したとき、「いい大学だよ」と言っていた言葉が、今日ここに来て実感できました。

環境情報学科1年 伊藤和幸さんのご両親



クラス別の懇談会では先生のお話が面白くて、あっという間に時間が過ぎてしまいました。ああいう魅力的な先生方の下で学べば、きっと得るものも大きいはずですよ。各施設の充実ぶりも素晴らしいと思いました。エコロジカルな思想を随所に取り入れていらして、まさに21世紀のキャンパスといった感じですね。今後は、工学部と環境情報学部とがどのように交流し、互いに発展していくのかということに、大いに期待しています。

平成9年度の就職動向

就職協定の廃止という大きな環境変化のもとでスタートした今年度の就職戦線。就職活動は、早期化・長期化し、選考時期も前倒し傾向となりました。本学でも対応策として、急速就職ガイダンスを各学科毎に実施し、「協定廃止」という緊急事態に備えました。そのため、全般的には協定廃止は、本学学生の就職活動にとって、直接大きな混乱は感じられませんでした。

協定廃止の状況下、求人数が増加（前年度と比較して、工学部で36%増、大学院で22%増＝11月現在）したことにより、就職戦線は比較的順調に推移し、内定率が前年度より早いペースで進みました。11月現在、就職希望者の大部分の学生が内定を得ており、内容的にも、大

企業への内定者が増加しています。

雇用状況は好転しましたが、選考そのものは、依然厳しいことに変わりなく、面接・筆記試験により、学生の熱意・能力・資質等を鋭く見極められました。それだけに、就職活動に対する十分な研究、前向きな姿勢があったかどうか等が就職活動の成功、失敗を大きく左右しました。

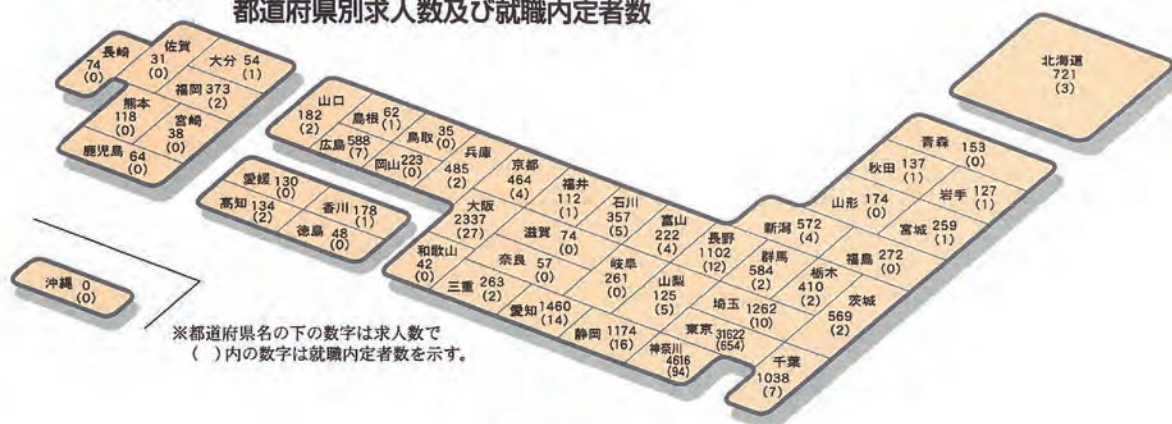
今後の見通しとしては、景気が停滞する等あまり明るい要素はありません。各企業は、不況に強い体質にする為に、リストラをしつつ新規採用も慎重に対応することになると思われます。したがって、次年度の就職活動に際しては、基礎知識・専門分野の習得は勿論のこと、十分な準備と積極的な取り組み方が今年以上に肝要です。

■平成9年度求人就職内定状況

（資料は平成9年11月1日現在大学就職課より）

項目 学科・専攻		就 職 希望者	就職者	就職率 (%)	求 人 企業数	1人当り の企業数	求人数	1人当り の求人数	進学希望	進学者
工 学 部	機 械 工 学 科	203	189	93.1	3,126	15.4	7,345	36.2	59	54
	電気電子工学科	98	98	100.0	3,278	33.4	7,664	78.2	70	63
	電子通信工学科	94	87	92.6	2,695	28.7	6,691	71.2	31	26
	建 築 学 科	103	91	88.3	2,453	23.8	6,175	60.0	48	34
	土 木 工 学 科	107	100	93.5	2,526	23.6	6,222	58.1	21	19
	経 営 工 学 科	141	137	97.2	2,225	15.8	5,691	40.4	23	16
	小 計	746	702	94.1	16,303	21.9	39,788	53.3	252	212
大 学 院 工 学 研 究 科	機 械 工 学 専 攻	33	30	90.9	1,023	31.0	2,248	68.1	0	0
	生産機械工学専攻	25	23	92.0	915	36.6	2,077	83.1	0	0
	電気工学専攻	77	76	98.7	1,104	14.3	2,431	31.6	2	2
	建 築 学 専 攻	34	28	82.4	721	21.2	1,768	52.0	1	0
	土木工学専攻	29	29	100.0	734	25.3	1,767	60.9	0	0
	経営工学専攻	22	22	100.0	724	32.9	1,769	80.4	3	0
	原子力工学専攻	8	8	100.0	590	73.8	1,535	191.9	0	0
	小 計	228	216	94.7	5,811	25.5	13,595	59.6	6	2
合 計	974	918	94.3	22,114	22.7	53,383	54.8	258	214	

■平成9年度卒業見込者に対する 都道府県別求人数及び就職内定者数



平成9年度就職内定先企業/資本金順上位50社

企業名	就職人数
日本電信電話(株).....	10名
東京電力(株).....	2名
中部電力(株).....	1名
ソニー(株).....	4名
トヨタ自動車(株).....	1名
(株)日立製作所.....	5名
(株)東芝.....	5名
三菱重工業(株).....	5名
富士通(株).....	2名
シャープ(株).....	3名
日産自動車(株).....	1名
松下電器産業(株).....	3名
東日本旅客鉄道(株).....	2名
日本電気(株).....	6名
積水ハウス(株).....	3名
三菱電機(株).....	3名
キヤノン(株).....	7名
東京瓦斯(株).....	1名
三菱自動車工業(株).....	2名
日本アイ・ビー・エム(株).....	2名
(株)デンソー.....	2名
大和ハウス工業(株).....	1名
大日本印刷(株).....	2名
昭和電工(株).....	1名
凸版印刷(株).....	2名
大成建設(株).....	2名
マツダ(株).....	3名
(株)青木建設.....	2名
(株)プリチストン.....	1名
三菱地所(株).....	1名
本田技研工業(株).....	5名
ローム(株).....	1名
(株)熊谷組.....	5名
富士重工業(株).....	2名
(株)長谷工コーポレーション.....	4名
日新製鋼(株).....	1名
(株)リコー.....	1名
清水建設(株).....	5名
全日本空輸(株).....	1名
沖電気工業(株).....	5名
NTTデータ通信(株).....	3名
キヤノン販売(株).....	2名
石川島播磨重工業(株).....	1名
オムロン(株).....	2名
スズキ(株).....	1名
鹿島建設(株).....	5名
ミネベア(株).....	4名
(株)村田製作所.....	1名
いすゞ自動車(株).....	1名
トステム(株).....	6名

全上場企業の役員・管理職出身大学別ランキング

(データ:「週刊ダイヤモンド」/全国大学一覧・文部省監修・昭和60年度)

大学名	区分	大学規模	平成8年			
		昭和60年5月現在 (※1) A学則定員	B 人数	順位 (※3)	B/A 輩出指数 (※2)	指数 順位
早稲田大学	私立	8,560	11,332	1	1.32	9
慶應義塾大学	私立	4,940	10,908	2	2.21	4
東京大学	国立	3,063	8,575	3	2.80	2
京都大学	国立	2,536	5,739	4	2.26	3
日本大学	私立	13,700	5,696	5	0.42	
東京工業大学	国立	836	1,692	21	2.02	5
名古屋工業大学	国立	1,040	1,056	27	1.02	
東京理科大学	私立	2,890	1,031	28	0.36	
芝浦工業大学	私立	910	1,025	29	1.13	
武蔵工業大学	私立	790	957	33	1.21	11
大阪工業大学	私立	1,560	916	34	0.59	
工学院大学	私立	1,070	795	39	0.74	
東京電機大学	私立	1,400	747	40	0.53	
千葉工業大学	私立	1,020	662	49	0.65	
電気通信大学	国立	620	268	56	0.43	

※1. 大学規模は臨時定員増の影響の少ない60年度とする。

※2. 「輩出指数」=B人数÷A学則定員。

※3. 順位は「週刊ダイヤモンド」の順位。

就職・進学活動スケジュール

学年	1・2年生 (就職か進学かを考える)	3年生 (進路についてより具体的に考える)	4年生 (就職進学活動の本番です)
公務員等	4～6月 ●公務員受験模擬試験など 12月 ●公務員受験講座など 12・3月 ●公務員受験模擬試験	4～6月 ●公務員受験模擬試験など 11月 ●公務員ガイダンス 12月 ●公務員受験講座 12・3月 ●公務員受験模擬試験	4～6月 ●公務員受験模擬試験 ●試験開始
民間企業	自己の適性に基づいて家庭で協議	10～11月 ●就職ガイダンス ●Uターンガイダンス ●就職講演会 11～12月 ●就職適性検査 ●一般常識模擬テスト ●能力適性検査・論作文講座 11～1月 ●自己分析 2～3月 ●資料による企業研究	4～5月 ●就職ガイダンス ●Uターンガイダンス ●就職講演会 ●能力適性検査 ●一般常識模擬テストなど ●模擬面接 ●学内での希望調査および推薦者決定 10月上旬 ●採用内定通知 ●学内での採用内定報告手続
本学大学院進学		4月 ●進学予定者対象の進学説明会 ●図書館などで大学院の各専攻内容や入試問題等を検討	4月 ●進学予定者対象の進学説明会 5月 ●推薦入学生募集要項入手・願書提出 6月 ●推薦入学試験 8月 ●学生募集要項入手・願書提出 9月 ●第1次入学試験 2月 ●第2次入学試験
他大学大学院 (海外留学)		●他大学または留学先より資料を取り寄せ情報収集活動	4～5月 ●指導教授と相談の上、進学先の検討 9月 ●入学試験(大学の要項)

絵で見る キャンパスSPOT④

工学部図書館の巻

約24万冊の工学専門関係の図書、ならびに約3000種類にも及ぶ和・洋の学術雑誌を蔵書した工学部図書館は、利用者IDカードによる閲覧システムとコンピュータによる目録検索システムを採用する、まさに新しいタイプの大学図書館と言えるでしょう。もちろん環境情報学部図書館ともコンピュータネットワークにより結ばれ、学生たちの相互利用を容易にしています。また、一般図書・雑誌、さらに名作映画のビデオソフトや音楽CDソフトなども備え、学生の憩いの場としても機能しています。



1F 個人文庫、製本雑誌バックナンバー、紀要、官報、法規類を保管する閉架書庫があります。この中にある図書を借りたい場合は、3Fカウンターに申し込みます。館長室、図書館事務室も1Fです。

2F 語学・文学、芸術、工学、自然科学、人文社会科学、の分野にわたる洋書を含んだ研究用図書と、製本雑誌のバックナンバーを保管する書庫、新着学術雑誌の閲覧室（入室は4年生以上）があります。製本された大学院生たちの学位論文が並びコーナーも設けられています。

3F 貸し出しカウンター、目録コーナーなどを擁する当図書館の“顔”。さまざまなジャンルの学生用図書、新着一般雑誌を備えています。2つの閲覧室があり、試験前となると、大勢の学生がここで勉強をします。ビデオやCDが楽しめる視聴覚室もここにあります。

4F 大型閲覧室と、第1、第2の2つのセミナー室があります。第1セミナー室（36席）は自由に利用でき、第2セミナー室（12席）を利用する場合は事前に3Fカウンターで申請する必要があります。大型閲覧室入り口部分には休憩室も設けられています。



コンピュータでレファレンス（図書相談）や蔵書の管理を行う図書司書の方々

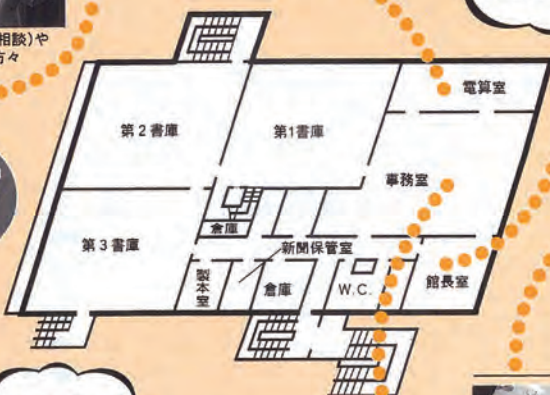


館長として日が浅いので、図書館に対して要望のある学生諸君はドシドシ意見をきかせてほしいですね。



「研究や学習のためだけではなく、憩いのサロンとして機能する場にしてゆきたい」と語る図書館長の佐藤三穂先生。

1F



これらの貴重図書は折りこみ公開されている。
——レオナルド・ダ・ビンチ——



鳥の飛行に関する手稿



解剖手稿

——ベルサクラム——



建築デザイン関係の稀版本
1898年発行



図書館の事務全般を執り仕切っている山澤事務課長（次長）

年々増える蔵書をいかに高率的に整理、分類するかが課題です。

飲食後の空カンや紙屑は片付けてもらいたいものです。



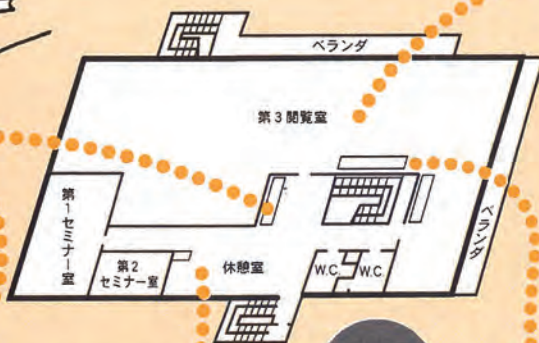
あらゆる面で快適な図書館の維持につとめる松浦係長



レポートなどの課題に取り組む学生たち。
試験前になるとすべての席が一杯になる。



歴代理事長、学長の写真や本大学史
に関する図書が展示されている。



4F



館内唯一の喫煙、
飲食コーナー

「金澤文庫」コーナーの設置

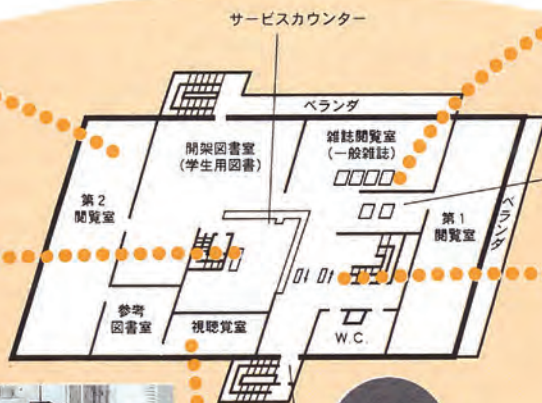
故金澤幸一氏の遺志に基づいて設けられるものです。氏は昭和48年電気工学科を卒業、朝日新聞社東京本社技術部で活躍されていましたが、前途を期待されながら不運にも平成5年12月24日に逝去されました。生前、同氏がもっとも敬愛していた母校武蔵工業大学に学ぶ後輩たちの学習、研究の一助にと、ご遺族からの寄付により、科学、技術関係の図書や一般図書(CD-ROM、ビデオ含)を中心に約2500冊の蔵書が随時整備されています。



端末検索コーナーを
利用している学生



共通課題に意見百出



3F



豊富なビデオ資料



ビデオ鑑賞する学生



CD-ROM
検索機

学生の入出館は、このブックディテク
ションシステムゲートで行われる。



製本雑誌バック
ナンバーがビ
シリ並ぶ

研究用図書
(文学・芸術・工学・自然化学)

ここに本学で取得した修士、
博士の論文が保管されている。



2F



雑誌等を管理する事務室



この部屋は4年生、院生、
教職員のみ入室可



“クルマいじりが三度の飯より好き”な部員たちが、日々、機械整備とドライビングテクニックの向上に磨きをかけている「自動車部」と、シャトルの初速はなんと200km/h(!)という、イメージ以上に苛酷なスポーツに汗を流している「バドミントン部」。今回はこの両団体にお邪魔し、日々の活動内容や今後の目標について取材しました。

【自動車部】

先輩たちに続け! メカニックの腕ではどこにも負けない



**最悪コンディションの6時間耐久レース
後半の猛烈な追い上げで、好成績を獲得!**

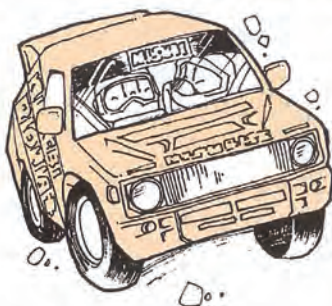
多くの優秀な人材を輩出していることで、モータースポーツ界における武蔵工大の名前は、かなりのネームバリューがあります。

たとえば昨年の「96年関東ラリーシリーズ」のBクラスで見事チャンピオンの栄冠に輝いた中山茂さん(平成7年大学院修士機械修了)をはじめ、中山さんと同じレースのBクラスで2位に入った竹村健さん(平成4年工学部土木卒)や、「96JMRC長野ラリーシリーズ第5戦第19回SLACツーリストロフィー」Bクラスで1位となった松浦肇さん(平成3年工学部機械卒)。さらに中山さんの昨年の優勝をナビとして導いた元全日本ナビの中山守朗さん(昭和63年工学部機械卒)や、プロレーサーの中谷明彦さん(昭和57年工学部機械卒)、清水和夫さん(昭和52年工学部通信卒)などなど、多くのラリー選手やプロレーサーが武蔵工大から巣立っていきました。そしてこの中には学生時代、武蔵工大自動車部に在籍していた人も少なくありません。

こんな“名門”の自動車部ですから、去る9月15日、長野県松代町のスポーツランド信州で行われた「軽自動車6時間耐久レース」において、好成績を残すことができたのも当然といえば当然と言えるでしょう。

今年度から始まった同大会は、全日本自動車連盟関東支部の主催によるものです。関東の大学19校とOBチームの計20台が参加しました。レースはいわゆる“ワンメイクレース”と呼ばれる形式で、参加チームはすべて同じ種類のクルマで戦います。連続で1人のドライバーが1時間以上運転しては

いけない、スタートから3時間以内に前後左右のタイヤ交換の義務付け、などの数多くの細かい規定があり、チームの総合力が問われる戦いです。ちなみにクルマは、ダイハツ自動車から参加各大学に軽自動車のミラが提供されました。



試合当日は雨に加えて、霧も発生する最悪のコンディション。路面はいたるところでぬかるみ、ちょっと気を抜けばすぐにスタックしてしまうような状況でした。序盤こそハイペースだったものの、後半はさらに路面状況が悪化し、ピット作業などではジャッキアップすら満足にできない厳しいレース展開となりました。コンディションの悪い序盤にピット作業を行った大学が上位に進むという流れができつつある中、中盤以降にピットに入った武蔵工大自動車部は大苦戦。しかし後半に入って猛烈な追い上げを見せ、完走16台中8位の好成績をあげることができました。「3年生が引退する前の最後の公式戦ということで、レースには先輩たちが



▲いつも笑顔が絶えない恵美君

中心となって参加しました。レース自体が成り立つかどうかかわからない状況の中で、8位はなかなか貢献したほうだと思います。しかし来年、もし晴れたとら、もっといい成績を残しますよ」

レースを振り返り、新主将の恵美尚雅君(機械2年)は、そう力強く語ってくれました。



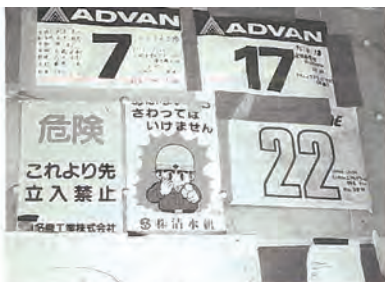
**予算の捻出に苦しみながらも
「好きなことだから」と頑張る部員たち**

普通の大学では自動車部のようなクラブは体育会に所属することが多いものですが、武蔵工大の場合、文化団体連合会の所属する文化系のクラブとなっています。しかし、活動内容はと言えば、他大学の自動車部に負けず劣らず、かなりアクティブです。「単に機械いじりだけで満足しているわけではなく、走行技術とメカニックの技術の両方を磨いています。そうですね、レースに勝つための技術を磨いているとも言えはいいでしょうか」(宇津木孝祐君・電子通信2年)

彼らが参加するレースには2つのタイプがあります。ひとつは、先ほど紹介した「軽自動車6時間耐久レース」のようにダートコー



▲人を使うのがうまい宇津木君



▲戦歴を示すカーゼッケン

顧問：湯浅 栄二 教授
主将：恵美 尚雅（機械2年）
部員数：12名

▼マシンの分解・組立はお手のもの▼



スを走るもので、もうひとつは障害物を使ってコースを作り、タイムを競うジムカーナと呼ばれるものです。私たちが自動車レースを想像するとき、サーキットを猛スピードで駆け抜けるようなタイプのものを思い描きがちですが、そういう多大な危険を伴うものは大学の部活動としては認められていません。

年間の大きな公式戦は、「全日本学生自動車連盟ジムカーナ大会」（5月）、「全日本学生自動車連盟ダートトライアル大会」（6月）、そして今年度から始まった「軽自動車6時間耐久レース」（9月）の3つ。大会前はクルマをダート用やジムカーナ用に整備し、なおかつ好成绩が残せるような微妙なセッティングをしなければならず、部員一同、かなり遅い時間までガレージにこもることになるそうです。もちろん東京近郊のコースを借り、大会に備えての練習会も積極的に行っています。

こんな彼らの最大の悩みは予算。工具代、整備費用、コースの使用料、さらにレースの参加費やクルマを会場まで運搬するためのトラックのレンタル代などを、部費や後援会からの援助、またOBからのカンパなどだけではとうていまかないきることはできません。そこで5月には東急自動車学校のコースを借り切り、「激安免許取得講習会」（通称、連ドラ）を実施しています。これは上級生の指導のもと、1年生部員たちに自動車免許を取得してもらうという企画。これにより1年生は自動車教習所に通うより格安で免許が取得でき、自動車部には講習会費の1部が部費として回されるという画期的なシステムです。しかし、この「連ドラ」で貯えた費用を加えても、まだまだ予算は足りないようです。「レース



▲湘南ボーイ！後藤君

に出てクルマが無事ならまだいいんです。たいていどこかしら壊れてしまうものですから、その修理費もかかる。だから、いつも部費は足りない状態。みんなアルバイトに精を出すしかないんですよね」（後藤行介君・機械2年）

アルバイトの内容は、酒のディスカウントショップの配達、塾の講師、駐車場管理、自動車工場の整備助手、ガソリンスタンド、などなど。飲食店でアルバイトをしている部員も多いようです。「部活でクルマの整備をすると、どうしても爪の中にオイルが溜まっちゃう。必死に洗うんですがなかなか落ちないんですよ。ボクはファミリーレストランでウェイターをしているんですが、そのことで店長に怒られたこともありました（笑）」（恵美君）。

もちろん、もともとクルマが好きな部員たちばかりですが

ら、このアルバイトで稼いだお金は、自分たちが「愛車」を手に入れるための費用にも回されます。とはいえ彼らが購入するクルマは、昭和58年や昭和59年といった年式のかかなり古いものばかり。「先輩たちが古いクルマについて詳しいので、さすが大学の自動車部ともなると違うな、なんて最初のうちはびっくりしてたんです。しかしよくよく考えてみれば、みんな予算的に買えるのは、そういう古いクルマばかりなんですよ（笑）。だから詳しくなるのも当然なんですよ」（近藤博文君・機械1年）

▲産地直送フレッシュマン近藤君

年式を経たクルマはどこかしらガタがきているものですが、そこはメカニクに詳しい彼らのことですから問題はありません。部室のガレージには工具もあるし、何よりもまわ



▲専門はアンティークカーの小林君



▲熱血ファイター植田君

りにはクルマについて詳しい仲間たちがいます。「ガレージが自由に使えるなんて、クルマ好きにはたまらない環境です」（小林光弥君・機械1年）。「先輩たちがやさしく教えてくれるから、メカ的な部分も自然と詳しくなるんですよ」（植田君・機械システム1年）。「部室に来るのが何よりも楽しい。クルマ好きの溜り場みたいな感じで。新車が出たりすれば、あーでもない、こーでもない延々時間を忘れて語り合ってしまうんです」（金内保憲君・機械1年）。



▲免許がほしい金内君

今後の目標は、さらに練習会を積極的に行い、かつてのように全国大会の常連となること。工学部に在籍する部員が多く、クルマの仕組みや構造面については熟知している彼らが、自らハンドルを握るということは、レースに参戦する形として理想とも言えるはず。きつと近いうちに全国大会出場の夢をかなえることでしょう。

学業とアルバイトに追われながらの活動で「ほとんど休日はない」という部員たちですが、大好きなクルマに青春を賭けた彼らの表情は、とびきり輝いて見えました。



顧問：千葉 和茂 講師
主将：星野 亨（土木2年）
部員数：37名

【バドミントン部】

練習のハードさはハンパじゃない！



武蔵工大のチームワークの良さは
他大学の間でも評判になるほど

バドミントンと言うと、つい公園などで楽しむ手軽なレジャーの代表のように感じてしまいがちですが、本格的な競技スポーツとしてのバドミントンには、そんなお遊びの感覚は微塵もありません。選手ともなればラケットから打ち出されるシャトルの初速は200 km/hにも達し、これを打ち返すには反射神経と瞬発力、そして類稀な動態視力が要求されます。さらに試合はかなりの長丁場。シングルスだと男子は15ポイント、女子は11ポイントの3セットマッチ。試合が3セットまでもつれたとき、2時間弱に渡ってコートの中を駆け回ることになります。イメージとは裏腹に、バドミントンは他の競技に負けず劣らず、とてもハードでシビアなスポーツなのです。

こうした苛酷なスポーツに耐えるだけの身体を作り上げるために、武蔵工大バドミントン部は日々、厳しい練習に汗

を流しています。活動日は火、水、木、土曜日（木は隔週）。ランニングに始まり、補強、フットワーク、基礎打ち、パターン練習、そして試合形式の練習というのがいつもの流れ。3時間の練習時間が終わる頃には、部員たちの頭から湯気が立ち昇るほど。「大学時代に何もスポーツをしないと身体がなまっちゃうので、バドミントンぐらいなら、と軽い気持ちで入部した」という小池晶子さん（機械2年）のような初心者も少なからずいて、そういう部員たちは例外なく、



▲気はやさしくて力持ちの小池さん



▲精神面の強さは部内随一の栄さん

練習の辛さに最初は戸惑うそうです。もっとも高校時代からバドミントンが続けている栄美砂子さん（電子通信1年）のような人ですら、「こんなに辛いとは思わなかった」とのことなので、武蔵工大バドミントン部の練習内容と量は、半端なものではないのでしょう。「体育館のスペースの関係で、男子と女子とが別々の練習をすることができないんです。



▲気合いと根性の男、寒江君

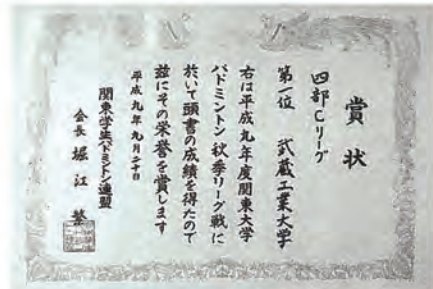


▲気がやさしくて淋しがり屋の堀江君

だからいつも練習は男女混合。まったく同じ内容のものをこなしています。男子でも辛いんですから、女子にとってはかなり辛いと思います。それでもついてくるんですから、うちの女性たちは大したもの（笑）。それだけバドミントンが好きってところもあるんでしょうが、わきあいあいとした部の雰囲気も大きいと思いますよ」と語るのは、寒江広供君（機械4年）。たしかにバドミントン部の雰囲気は、とてもアットホーム。先輩と後輩、男子と女子とのわけへだてがあまりなく、仲の良い友達のような感覚です。また、取材に訪れたときのバドミントン部は2年生を中心とした新体制に変わったばかりでしたが、寒江君のように現役を退いた部員も練習に多く参加していました。このあたりも、バドミントン部の雰囲気の良さを物語っているでしょう。同じように現役部員たちと一緒に汗を流していた堀江孝幸君（経営3年）も、「いつ来ても、みんなが明るい。学生生活の大きな拠り所という感じ。ボク、寂しがり屋なのかもしれません（笑）」とのこと。新主将の星野亨君（土木2年）も次のように言います。「もちろん、引き締めるところはぐっと引き締めています。上下関係がある程度ないと、伝達がうまく伝



◀▼練習に汗を流す部員たち



▲迫力満点、燃える男、星野君

大会では、常に他大学を圧倒するほど声援が送られることで有名な武蔵工大バドミントン部。このバツグンのチームワークの良さは、バドミントン部の大きな自慢なのです。



3部リーグ昇格はもうすぐそこ ガッツでハンデをはねとばせ！

武蔵工大バドミントン部は現在、男子、女子ともに、関東学生バドミントン連盟の4部リーグに所属しています。リーグには6部まであり、4部は男子24チーム、女子28チームから構成され、それぞれ4ブロックずつに分かれてリーグ戦を行います。男子はダブルス3戦、シングルス4戦、女子はダブルス2戦、シングルス3戦の合計で(各々2セット先取)で勝負が決まります。リーグ戦は4月の春季リーグと10月の秋季リーグの年2回。授業カリキュラムに追われ、レポートなどの課題も多い工学部の学生たちを主体としながら、4部の位置にいるということは、かなりの健闘と言えるでしょう。



▲得点王の高野君



▲後輩の面倒見のいい池成さん

わらず、技術も向上しませんが、しかしそれを練習後まで引きずることはありません。先輩後輩で食事に行くことも多いんです。こんな緩急の区別がきちんとあるから、うちの部はいい雰囲気を保たれているんだと思います」

期待しています」

期待しています」

個人戦で2回の優勝経験があり、長らく女子部員たちのまとめ役だった池成麻由美さん(土木3年)も次のように言います。「私の夢は大学時代に一度は3部で戦うこと。引退してその夢はかなえられなくなってしまったけど、もう一息のところまで来ていると思います。若干の不安は層の薄さ。女子はずっとギリギリの人数で戦ってきたので、もう少し勧誘に力を入れないと」

今年の新入部員の中には大塚和浩君(環境情報1年)のように、環境情報学部のある横浜キャンパスから、練習に参加するため、はるばる工学部のある世田谷キャンパスまで通う人も入部しましたが、男子、女子ともにまだまだ戦力の層は十分ではないそうです。「高校でバドミントンやってましたっていう人はいっぱいいるんですが、なかなかそういう人が入部してくれない。最近の学生って、部活動に汗を流すことをカッコ悪いと思っているのかも。キツイこともたしかにあるけど、部活動の楽しさ、バドミントンの楽しさをもっと知ってほしい」と、副将の府川竜彦君(電気電子2年・副将)。

コートが3面しか取れないため、これ以上人数を増やすと部員一人ひとりのコート練習をする時間が短くなってしまおうという問題もあるようですが、それでも「なんとかかなから大丈夫」という森田篤君(電子通信2年)。強豪大学と比べると、練習時間や部員数などの環境面で大きなハンデを持つバドミントン部ですが、部員一人ひとりのガッツ、そして何よりも固いチームワークがあります。それらを武器に、きっと近いうちに3部リーグ昇格のニュースをもたらしてくれるでしょう。



▲ムードメーカー的存在の府川君



▲勝負強さは天下一品、森田君

キャンパス トピックス

第1回「MI-TECH横浜祭」開催される!!

横浜キャンパスで初めての学園祭、名付けて「MI-TECH横浜祭」が、10月25日(土)に開催されました。今回は体育会創設35周年特別企画として、体育会の先輩たちが中心となり企画・運営にあたりました。

当日は、秋晴れのおだやかな1日で、学生はもちろん、



家族連れの地域の人が多数来場し、横浜キャンパスが賑わいました。その一部を紹介します。

●環境のことも考えたお祭り

横浜キャンパスのサークルである「環境問題研究会 Green Days」が、ゴミ削減のため使い捨て皿を用意せず、デポジット制(品代+皿代をお客から受け取り、お客が皿を回収所に返却すると皿代金が戻るといもの)を取りいれました。回収に係わる作業や再利用のための皿洗いは、サークルやボランティアの学生たちで行われましたが、みんな喜々として作業に徹していました。

また、ゴミの分別も完璧で、カン、ビン、生ゴミ、燃えるゴミ、割り箸等の分別は来場者の協力も得て、その目的を果たしました。このような小さな努力の積み重ねが、環境保全



やリサイクルへの関心をより高め、美しい地球の明日を創ることとなるのでしょうか。

●さまざまな模擬店

焼きそば、フランクフルトソーセージ、おでん等の定番メニューの出店から、地域の子供たちの来場を見込んで、綿菓子、ヨーヨー等の懐かしいお店が会場を賑わしてありました。また、留学生たちは、水餃子、ピーマン、チヂム等の母国自慢の料理に腕を奮い、大評判でした。

●バスターミナルの円形広場がステージに!

仮設の野外ステージでは、コンサート、トークショーそして「ものまねライブ」と多彩な出し物で、たくさんの来場者を楽しませてくれました。まずコンサートでは、学生の音楽団体である「PLAM」「スナイパーズ」「パチェラーセブン」「吹奏楽団」等が日頃の練習の成果を発揮し会場を盛り上げました。

トークショーでは、各分野で活躍している本学学生の星栄介くん(アトランタオリンピック、カヌー候補選手)、中

野真矢くん(MFJ全日本ロードレースGP250、プロレーサー)、後藤美葉さん(TVなどで活躍する若手有望漫談家)が学生生活の関心事である、「学業と各分野での活動の両立」の難しさや苦労話を中心に進められ、学生たちも身近な問題として、興味深く聞き入っていました。

ものまねライブは、TVものまね王座決定戦などに出演されている、タレントの星奈々さん。さすがプロの芸、最後は観客席を握手で回る等感動の熱いライブでした。

すべては紹介できませんが、誕生したばかりの横浜キャンパスで、小規模ながらアットホームな雰囲気の違いに残る記念すべきお祭りとなりました。

クリーンキャンパス運動学外版

学生部生活指導小委員会の平成6年度からの検討事項の中にクリーンキャンパス運動があり、平成8年度から実行に移され、学生団体連合会が主体となり学生諸君及び事務局職員の協力によりキャンパスのクリーン作戦が繰り広げられ、多大な成果が得られてきている。



一方、大学までの通学路における、タバコの吸殻、ジュースの空き缶等の投げ捨て・放置の指摘が通学路周辺の住民よりあり、苦情も頻繁に寄せられるようになった。この対策を学生部生活指導小委員会で検討し、平成9年度後期に以下に示す要領でクリーンキャンパス運動の学外版として通学路の清掃作業を実施することになった。まず卒業研究を遂行している4年生諸君の手を強制ではなくあくまでもボランティアとしてであるが借りて行く。これは先輩の率先した清掃活動を見ることによる後輩への効果を期待したものである。具体的には平成9年10月15日から平成10年1月30日までの間の月・水・金曜日の授業日延べ35日を各学科に割り振り、研究室毎に昼休みの約30分を目安に大学通用門から環状八号線の間の主な2本の通学路の清掃活動を行うこととした。

学科割り当ての終了した機械工学科の9日間の実施結果を振り返ると、各研究室の卒論学生は予想以上に積極的に参加してくれ、教授を先頭に15人~30人以上で和気藹々と清掃活動に従事し、充分成果を上げたと判断している。また時には住民よりねぎらいの言葉をもらうこともあった。今後の成果を見て、このクリーンキャンパス運動をどの様に展開するか、さらに検討したいと思っている。

留学生のための「日本文化を知る会」

去る平成9年10月4日(土)、留学生の「日本文化を知る会」が、工学部・環境情報学部合同で行われました。この行事は毎年1回、留学生が日頃なじみのない日本文化に触れつつ、留学生同志が交流を深めることを目的として行われています。今年は茶道のお茶会と箏の演奏会を、兄妹校である東横学園女子短期大学の茶道部・箏曲部・教職員の方々の協力のもとで体験しました。本学からは、工学部(留学生11名、職員4名)、環境情報学部(留学生8名、職員1名)が参加しました。

始めに図書館に集合して、留学生、各部、教職員の挨拶、紹介とスケジュールの説明がありました。そして、全体を2つのグループに分け、お茶会と箏曲鑑賞を交替で体験していきました。

お茶会では実際にお茶室に入り、略式ではありますが、説明を受けながら全員がお菓子とお茶をいただきました。お茶会が進むにつれ、質問も活発にとび出しました。後のグループでは、お茶をたてさせていただくこともできました。

箏の演奏会では、箏についての説明をしていただき、学生と指導の先生それぞれの演奏を鑑賞しました。その後実際に箏に触れ、音を出したりしました。

両方を体験した後、学生食堂で懇談会を行い、留学生・各部の部員・教職員が和やかに語り合う姿が見られました。

今回は、留学生と日本文化との交流だけでなく、東横短大の学生との国際交流の機会でもあったように思われます。この会が参加者全員にとって、有意義で貴重な体験として心に残ることを願っています。



課外活動短評

硬式野球部…東都大学野球連盟の秋季リーグ戦において8勝2敗勝ち点4というすばらしい結果で4部リーグ優勝を果たした。

バドミントン部…関東学生バドミントン秋期リーグ戦4部に於いて、男子優勝、女子準優勝を飾った。

空手道部…国際松濤館空手連盟主催の第6回世界大会で成年女子個人組手で神山千寿さん(経3)が優勝した。さらに同連盟主催の第17回全日本空手道選手権大会において一般女子個人有段組手で優勝を果たした。また鈴木孔明君(経2)も一般男子個人組手重量級で優勝を果たした。

弓道部…4月29日に行われた第31回関東理工系大学定期戦において団体戦で3位を飾った。また120人いる個人戦においても、堀河宏明君(建3)が優勝を果たした。

水泳部…山本博徳君(経3)は、第41回東日本理工系選手権水泳競技大会の200m自由形リレーで好記録を収めたため、第73回日本学生選手権水泳競技大会50m自由形の出場権を獲得した。

バスケットボール部…関東男子学生バスケットボールリーグ戦6部に於いて、3位となり、入替戦の結果5部昇格を果たした。

ラグビー部…関東理工系リーグ戦に於いて、昨年の優勝に引き続き今年も優勝を果たした。

陸上競技部…関東理工系学生対抗陸上競技大会に於いて男子総合成績で第7位に入賞した。

機観会…第17回ホンダエコノパワー燃費競技大会に2チーム出場し、大学クラスにおいて80台中の12位と23位という好記録を収めた。

特別団体 カヌー…星栄介君(経4)はアジアオープンカヌースラローム・ワイルドウォーター選手権においてスラローム男子K-1の部で第3位と優秀な成績を収めた。

緊急奨学金…平成9年度奨学生として下記の5名が採用され、授業料の半額が貸与されました。

小峰真理子(建築1年)	佐藤 祥司(機械4年)
渡辺 淳(経営2年)	遠藤 光則(建築4年)
山内 一代(電子通信3年)	

事務局便り



学生部長
海老原 大樹

本年4月より、学生部長を担当することになりました。前任の中添先生から後援会の事務局と併せて引き継ぐことになりました。前学生部長同様、よろしくお願い申し上げます。

後援会のバックアップにより、本学の課外活動も活発となり、最近では工科系単科大学にもかかわらず、数多くのクラブが優秀な実績を残しております。

さらに、本年度から横浜キャンパスでは、

同好会の新設や体育会が主催したMI-TECH横浜祭の開催など、正課のみならず、課外活動におきまして教職員、学生が一体となった盛り上がりを見せております。

これらの活動は、本学学生の人格形成に大いに効果を発揮するものと確信いたしております。これもひとえに後援会のご支援の賜物であり、今後ともいっそうのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成9年度「大学と父母との連絡会」について

平成9年度の「大学と父母との連絡会」は7月13日(日)沖縄の那覇市を皮切りに、9月27日(土)の東京・横浜地区までの間、全国27会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

■平成9年度「大学と父母との連絡会」の出席状況

開催地	開催日	会場名	対象県	対象者数	出席者数	出席率	平成8年度
釧路	9月6日(土)	釧路東急イン	北海道	57人	7人	12.3%	29.8%
札幌	9月7日(日)	札幌東急ホテル					
青森	9月7日(日)	ホテルJALシティ青森	青森	11	3	27.3	0
			岩手	20	6	30.0	26.3
			秋田	22	4	18.2	40.9
仙台	9月6日(土)	ホテルJALシティ仙台	宮城	39	19	48.7	54.1
			山形	17	6	35.3	31.6
郡山	9月5日(金)	郡山ビューホテルアネックス	福島	58	12	20.7	30.2
宇都宮	9月13日(土)	ホテルフェアシティ	栃木	85	24	28.2	33.8
水戸	9月14日(日)	ホテルシーズン	茨城	131	32	24.4	24.8
東京 横浜	9月27日(土)	武蔵工大 世田谷キャンパス 武蔵工大 横浜キャンパス	東京	1135	158	13.9	14.8
			神奈川	1505	219	14.6	13.4
			千葉	303	39	12.9	10.6
			埼玉	329	40	12.2	15.4
高崎	9月6日(土)	高崎アーバンホテルナポリ	群馬	70	15	21.4	23.5
新潟	9月7日(日)	ホテルイタリヤ軒	新潟	47	12	25.5	27.7
甲府	9月13日(土)	甲府ホテル	山梨	70	25	35.7	35.3
長野	9月14日(日)	長野ファーストホテル	長野	123	38	30.9	25.8
富山	9月6日(土)	第一イン富山	富山	38	16	42.1	27.9
金沢	9月7日(日)	金沢東急ホテル	石川	38	17	44.7	31.7
			福井	15	3	20.0	21.4
静岡	8月30日(土)	ホテルアソシア静岡ターミナル	静岡	227	82	36.1	27.7
浜松	8月31日(日)	浜松名鉄ホテル					
名古屋	9月6日(土)	ホテルライオンズプラザ名古屋	愛知	53	19	35.8	30.8
			岐阜	21	5	23.8	20.8
			三重	28	3	10.7	13.6
大阪	9月7日(日)	大阪ガーデンパレス	大阪	14	3	21.4	31.3
			滋賀	8	1	12.5	0
			京都	10	1	10.0	20.0
			奈良	3	0	0	0
			和歌山	6	0	0	0
			兵庫	14	1	7.1	38.5
岡山	8月29日(金)	ホテルグランヴィア岡山	岡山	23	9	39.1	14.3
			鳥取	5	2	40.0	0
広島	8月30日(土)	広島ガーデンパレス	広島	43	14	32.6	20.8
			島根	15	3	20.0	14.3
小郡	8月31日(日)	山口グランドホテル	山口	14	5	35.7	38.9
高松	8月30日(土)	高松東急イン	香川	15	8	53.3	33.3
			徳島	16	4	25.0	26.7
高知	8月31日(日)	ホテルサンルート高知	高知	24	9	37.5	60.0
			愛媛	16	3	18.8	10.0
福岡	8月30日(土)	福岡ガーデンパレス	福岡	64	28	43.8	46.6
			佐賀	9	2	22.2	22.2
			長崎	5	1	20.0	25.0
			大分	23	4	17.4	10.0
熊本	8月31日(日)	ニュースカイホテル熊本	熊本	8	4	50.0	50.0
			宮崎	22	2	9.1	27.8
			鹿児島	16	5	31.3	44.4
那覇	7月13日(日)	ホテルニューおきなわ	沖縄	25	14	56.0	62.5
			外国等	50	4	8.0	—
			合 計	4,890	931	19.0	18.9